

かけはし

大仙市立西仙北小学校 学校報 平成29年度 第48号 (2018.2.21)

「2月中旬の学校行事や連携」を紹介します。

避難訓練「火災想定」 2月7日(水) 2校時前半に ・避難後「確認シート」記入



冬期間の「降雪期に火災」が発生したことを想定して、「避難訓練」を実施しました。避難の様子は、

- ①放送の指示を聞く。
- ②防寒具を着用して、玄関で外靴を持って、内ズックのまま外に出る。
- ③避難場所(駐車場南側の車庫前)に着いたら、内ズックを外靴に履き替える。

避難時間は5分15秒でした。校内に入り、放送で全体会を行いました。

お(おさない) は(はしらない) し(しゃべらない)
も(もどらない) ち(ちかづかない)

避難する時の大事な合い言葉も知りました。

※ 「降雪期」は、駐車場南側車庫前のスペースを空けておくようになっています。ご協力をお願いします。 ※

「西仙北中学校1日入学」(6年生) 2月8日(木)

中学校の授業を参観したり、体験したりしました。部活動紹介タイムもありました。



中学1年生と「社会科歴史や地理クイズ」

6年生が、「西仙北中学校の1日体験入学」をしました。

開会式後、全学年の授業を参観しました。そのあと、6教科(国・社・数・理・家・体)の中から一つを選択して、中学校1年生と合同の授業を体験しました。授業の後は、生徒会執行部が中学校生活について紹介してくれ、質問にも答えてくれました。給食も中学校で食べました。

午後からは、中学校1・2年生が部活動紹介をしました。小学生にはなじみが薄いものもあり、期待感をもちました。

2ヶ月後には、もう中学生です。西仙北中学校の小笠原晃校長先生から、「真剣に話を聞くし、落ち着いた小学生で感心した。」とおほめのことをいただきました。

「磁石のふしぎ」の授業 (3年生) 2月14日(水)



強力な「ネオジム磁石」を使った実験

3年生が、瀬々将史(ぜぜまさし)先生(横手清陵学院高校の博士号教員)から、「じしゃくのふしぎ」という理科の授業をしていただきました。

3年生は、前に「じしゃくのはたらき」について、自分たちで実験や観察をしていました。

そのときは、鉄は磁石にはつくが紙はつかないとまとめました。ところが、千円札と十円玉・1年玉を机に立てて、世界一強力なネオジム磁石を近づけてみたら、お金が動いて倒れました。キュウリさえも、動きました。驚きと発見の時間でした。

(「ネオジム磁石」を発明した・佐川真人さん:日本人)
ネオジム磁石は、ハイブリッドカーや携帯電話にも活用されているそうです。